

トナー技術部会 2025 年度活動状況

2026/1/23

主査 大喜多 正希（京セラ DS）

1. トナー技術部会〈9 名：退任 2 名、新任 2 名〉

[主査]

大喜多 正希（京セラ DS）

[副主査]

須釜 宏二（コニカミノルタ）、田中 孝幸（キヤノン）

[委員]

秋葉 大（パウダーテック）、近藤 秀昭（花王）、

鎌田 靖男（エトリア：新任）、清水 健司（ホソカワミクロン：新任）、

中村 幸晃（富士フイルム BI）、原田 大輔（スダルシヤンジャパン）

笹辺 修司（ホソカワミクロン：2025.3 退任）、

小枝 麻衣子（エトリア：2025.7 退任）

2. 2025 年度活動状況

[年初に定めた活動案]

2025 年度は、2024 年度の活動を継続し、新ミッション策定に注力する。

[年初に定めた活動目標項目]

- ① トナー帯電量測定に用いる標準キャリアの頒布の継続
- ② トナー関連技術の深耕につながる技術研究会の開催（4-5 月）と、次回の企画
- ③ 新ミッション策定のためのトナー関連技術探索活動の継続

[活動計画]

- ・定例部会（見学会も含む）：隔月（原則、奇数月第二金曜日）で開催
- ・技術研究会を開催（4-5 月）するとともに、次回のテーマ設定や開催方式について検討していく。

[活動状況の概要]

- ・定例部会は 6 回（オンライン：1、3、7、9、11 月）開催した。

〈活動目標項目に関しての活動内容〉

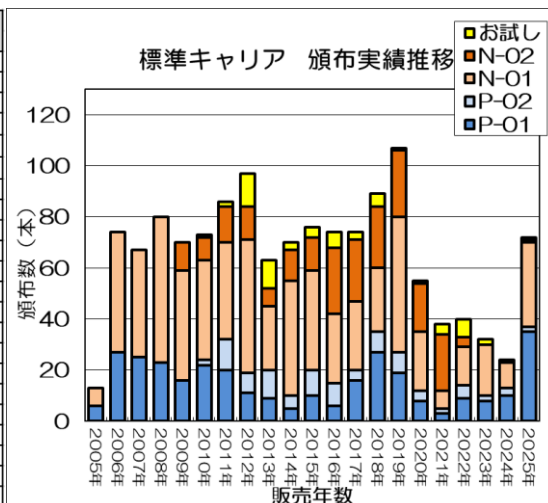
① トナー帯電量測定に用いる標準キャリアの頒布の継続

標準キャリアの頒布状況は 2017 年水準まで回復が見られた。ただしユーザー数は減少傾向にあり、昨年行った販促活動の効果かどうかは調査が必要。

頒布している標準キャリアで 2 月に N-01、P-02 の新ロットの帯電量検定、8 月に

4 種すべての定期帯電量検定を行った。

販売年数	頒布個数(本)					合計	1-5-1-数
	P-01	P-02	N-01	N-02	お試し		
2005年	6	0	7	0	0	13	6
2006年	27	0	47	0	0	74	39
2007年	25	0	42	0	0	67	35
2008年	23	0	57	0	0	80	36
2009年	16	0	43	11	0	70	25
2010年	22	2	39	9	1	73	30
2011年	20	12	38	14	2	86	26
2012年	11	8	52	13	13	97	44
2013年	9	11	25	7	11	63	27
2014年	5	5	45	12	3	70	25
2015年	10	10	39	13	4	76	26
2016年	6	9	27	26	6	74	34
2017年	16	4	27	24	3	74	23
2018年	27	8	25	24	5	89	31
2019年	19	8	53	26	1	107	35
2020年	8	4	23	19	1	55	25
2021年	3	2	7	22	4	38	15
2022年	9	5	15	4	7	40	12
2023年	8	2	20	0	2	32	10
2024年	10	3	10	1	0	24	9
2025年	35	2	33	1	1	72	8
合計	315	95	674	226	64	1374	521



- ② トナー関連技術の深耕につながる技術研究会の開催（4-5月）と、次回の企画研究会は、2025年5月16日に開催。『トナーの環境規制と環境配慮技術動向』と題し、会場とオンライン（Zoom meeting）のハイブリッドで行った。



- ③ 新ミッション策定のためのトナー関連技術探索活動の継続

『今後のトナーはどうなっていくのか？』を大テーマに粒径・粒度分布、色材、製法進化の観点から議論を開始。議論を進めていく中で最終的なアウトプットをどうするかをもう少し具体化する必要があるとなり、継続検討していく。

3. 2026 年度活動案

2026 年度は新ミッションの具体化に注力する。

〔活動目標項目〕

- ① トナー帯電量測定に用いる標準キャリアの頒布の継続
- ② トナー関連技術の深耕に繋がる技術研究会の開催（11-12月）と次回の企画
- ③ 新ミッション具体化のためのトナー関連技術探索活動の継続